

矢口克信

「原像の現像（原像のための習作ドローイン群）」

2016 -

Sculpture

一つの場所に腰を据え長期的に活動していると、様々な人や物や出来事が舞い込んでくる。この10年間、それらをその場所に回収し、保管し、様々な形で記録し続けてきた。本来であれば処分されるはずの廃材たちも、様々な偶然の波にうち寄せられるように私のもとに流れ着いてきた。屋根の下で長らく埃をかぶり続けるものもいれば、屋外で雨に打たれ続けるものもいて、その光景はまるでかれらの宿場のようで、いずれも長い旅路の疲れを癒しているようだ。それら廃材を用いて、即興でドローイングを描くように形象を預けた本作品群は、私の中に存在する郷愁にも似た曖昧な感覚や情景の断片を書き留めた幾重のメモがきのようなものであり、私個人の原像を現すための習作である。

矢口克信 (2018). 「原像の現像（原像のための習作ドローイン群）」ワシントン跡地出版, P5



「原像の現像（原像のための習作ドローイン群）」2018年6月

木片、釘
45 cm × 45 cm × 5 cm



矢口克信「原像の現像（原像のための習作ドローイン群）」2019年4月

木片、釘

73 cm × 34 cm × 3 cm



矢口克信「原像の現像（原像のための習作ドローイン群）」2019年4月

木片、釘

47 cm × 28 cm × 4 cm



矢口克信「原像の現像（原像のための習作ドローイン群）」2019年4月

木片、ビニール、埃、葉、釘
30.5 cm × 10.5 cm × 9 cm



矢口克信「原像の現像（原像のための習作ドローイン群）」2018年11月

木片、葉、釘

39 cm × 12 cm × 2.5 cm



矢口克信「原像の現像（原像のための習作ドローイン群）」2018年11月

木片、釘

46.5 cm × 12.5 cm × 2 cm



矢口克信「原像の現像（原像のための習作ドローイン群）」2018年9月

木片、釘

106 cm × 55 cm × 3 cm



矢口克信「原像の現像（原像のための習作ドローイン群）」2018年9月

木片、ダンボール紙
35 cm × 15 cm × 6 cm



矢口克信「原像の現像（原像のための習作ドローイン群）」2018年9月

ベニヤ板、画鋸

51 cm × 47 cm × 11 cm



矢口克信「原像の現像（原像のための習作ドローイン群）」2016年9月

硝子片、ダンボール紙、画鋏
21 cm × 28 cm × 1.5 cm



矢口克信「原像の現像（原像のための習作ドロイン群）」2016年9月

鉄線、塗料、鏡片、ダンボール箱、釘

42 cm × 28 cm × 6 cm



矢口克信「原像の現像（原像のための習作ドロイン群）」2016年9月

乾電池、硝子片、塵、葉、電球片、塗料、木片、釘

25 cm × 25 cm × 5 cm

矢口克信

「無題 (d/c drawing)」

2019 -

Drawing



「無題 (d/c drawing #1124)」 2019

木板に油彩

59.3 cm × 42 × 1.9 cm



矢口克信「無題 (d/c drawing #1128)」2019

木板に油彩

59.3 cm × 42 × 1.9 cm



矢口克信「無題 (d/c drawing #1132)」2019

木板に油彩

59.3 cm × 42 × 1.9 cm



矢口克信「無題 (d/c drawing #1148)」2019

木板に油彩

59.3 cm × 42 × 1.9 cm



矢口克信「無題 (d/c drawing #1172)」2019

木板に油彩

59.3 cm × 42 × 1.9 cm



矢口克信「無題 (d/c drawing #1312)」2019

木板に色鉛筆、油彩
59.3 cm × 42 × 1.9 cm



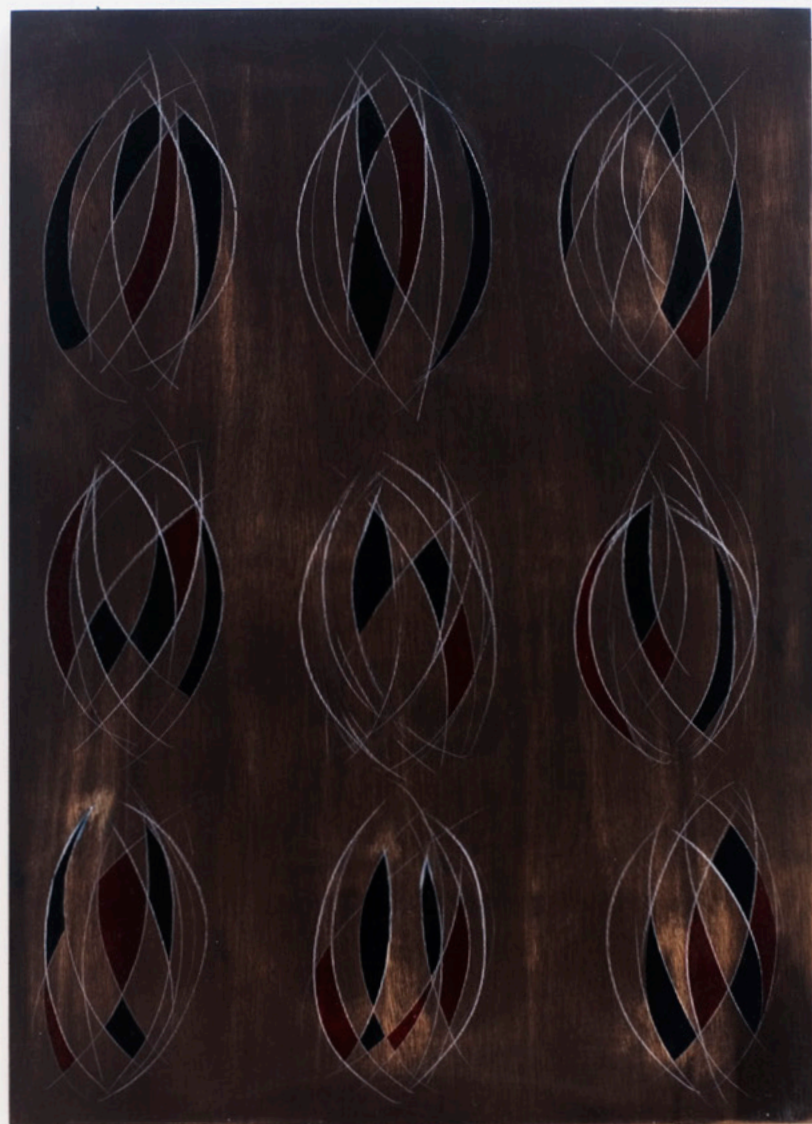
矢口克信「無題 (d/c drawing #1324)」2019

木板に色鉛筆、油彩
59.3 cm × 42 × 1.9 cm



矢口克信「無題 (d/c drawing #1333)」2019

木板に色鉛筆、油彩
59.3 cm × 42 × 1.9 cm



矢口克信「無題 (d/c drawing #1358)」2019

木板に色鉛筆、油彩
59.3 cm × 42 × 1.9 cm



矢口克信「無題 (d/c drawing #1272)」2019

合板に鉛筆、アクリル彩

46.4 × 28.5 × 1.2 cm



矢口克信「無題 (d/c drawing #1260)」2019

合板に色鉛筆、アクリル彩

60 × 43.2 × 1.2 cm



矢口克信「無題 (d/c drawing #1248)」2019

合板に色鉛筆、アクリル彩

82 × 30.3 × 0.6 cm

矢口克信

「無題 (d/c drawing)」

2015 -

Drawing

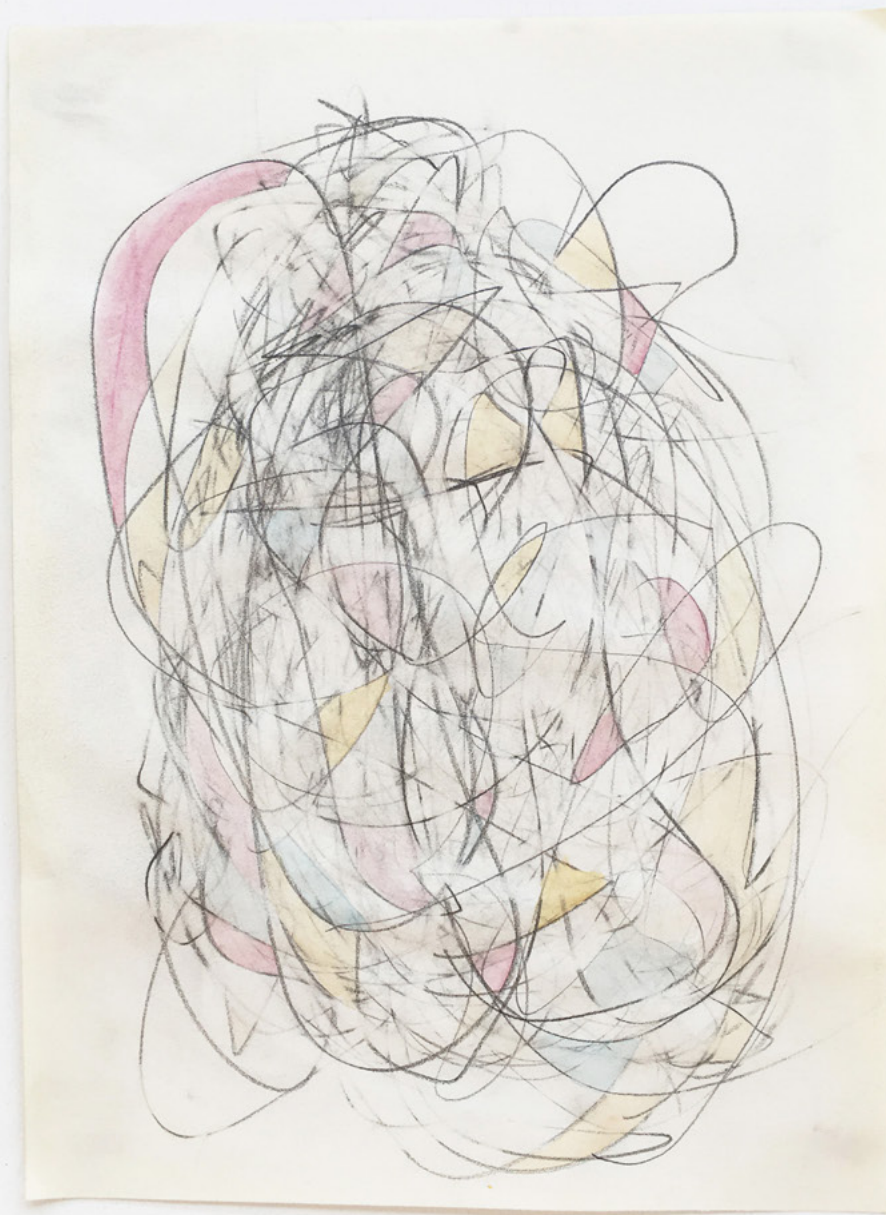
2013 年に行ったパフォーマンス「脱構築のドローイング」から着想したシリーズ。
壊す行為（脱構築）と描く行為（構築）という相反するアクションの俱発によって生まれる空間の広がりや奥行きを視覚的に考察するためのドローイング。



矢口克信「無題 (d/c drawing #002)」2015

紙に鉛筆、水彩、岩顔料

28.2 × 21 cm



矢口克信「無題 (d/c drawing #024)」2015

紙に鉛筆、水彩、岩顔料

28.2 × 21 cm



矢口克信「無題 (d/c drawing #035)」 2015

紙に鉛筆、水彩、岩顔料

28.2 × 21 cm



矢口克信「無題 (d/c drawing #039)」2015

紙に鉛筆、水彩、岩顔料

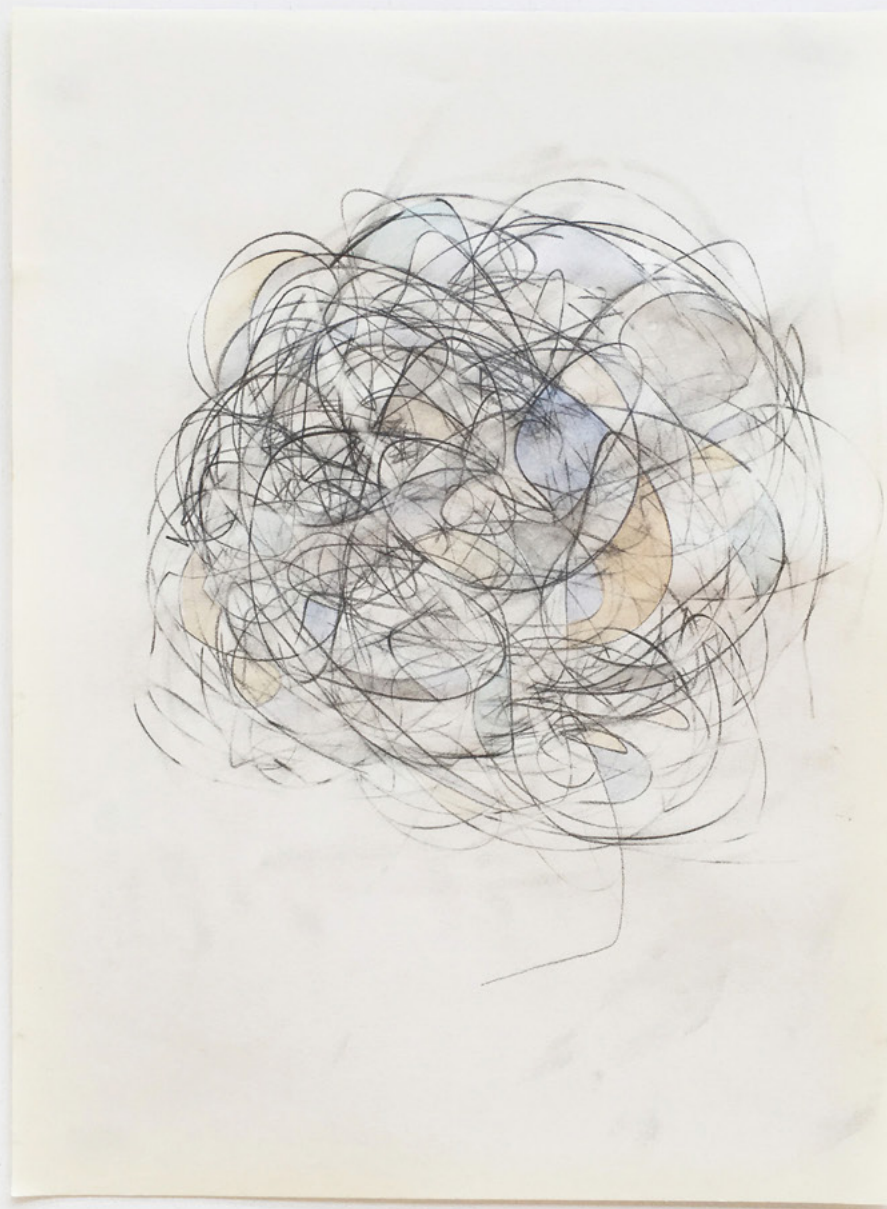
28.2 × 21 cm



「無題 (d/c drawing #048)」 2015

紙に鉛筆、水彩、岩顔料

28.2 × 21 cm



矢口克信「無題 (d/c drawing #053)」2015

紙に鉛筆、水彩、岩顔料

28.2 × 21 cm



矢口克信「無題 (d/c drawing #063)」2015

紙に鉛筆、水彩、岩顔料

28.2 × 21 cm

矢口克信
「無題 (Cultivation studies)」
2016 -
Drawing



矢口克信「無題 (Cultivation studies) #002」 2016

ダンボール紙に鉛筆、カーボン
28.2 × 21 × 0.2 cm



矢口克信「無題 (Cultivation studies) #003」2016

ダンボール紙に鉛筆、カーボン

28.2 × 21 × 0.2 cm



矢口克信「無題 (Cultivation studies) #004」2016

ダンボール紙に鉛筆、カーボン

28.2 × 21 × 0.2 cm



矢口克信「無題 (Cultivation studies) #005」2016

ダンボール紙に鉛筆、カーボン

28.2 × 21 × 0.2 cm



矢口克信「無題 (Cultivation studies) #006」2016

ダンボール紙に鉛筆、カーボン

28.2 × 21 × 0.2 cm



矢口克信「無題 (Cultivation studies) #007」2016

ダンボール紙に鉛筆、カーボン

28.2 × 21 × 0.2 cm



矢口克信「無題 (Cultivation studies) #011」2016

ダンボール紙に鉛筆、カーボン

28.2 × 21 × 0.2 cm

矢口克信

「原像の現像（三十三台の扇風機）」

2011 - 2012

Drawing

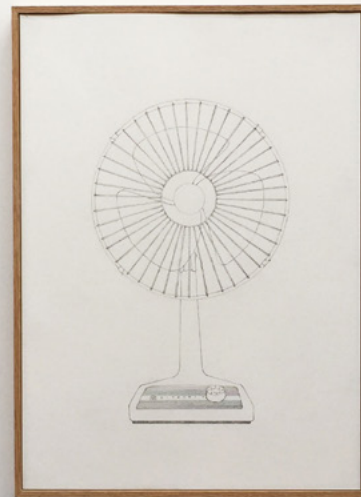
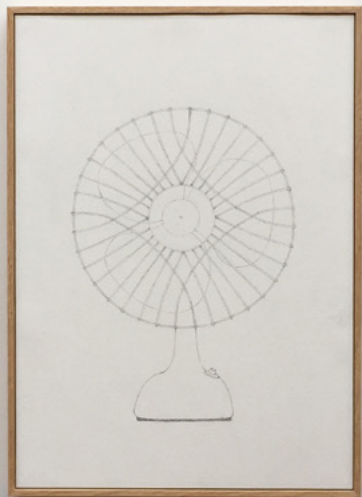
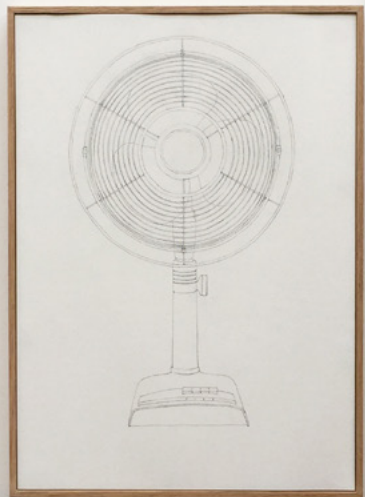
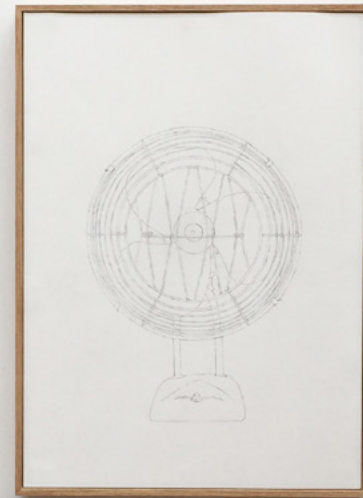
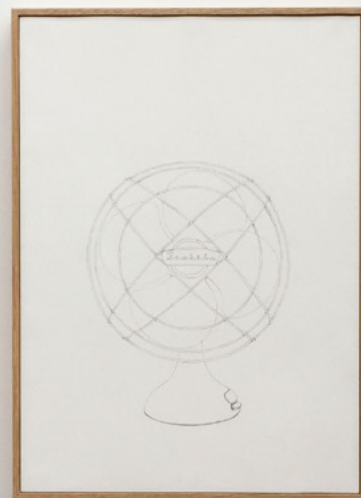
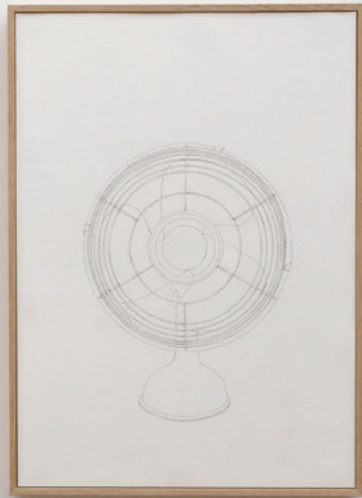
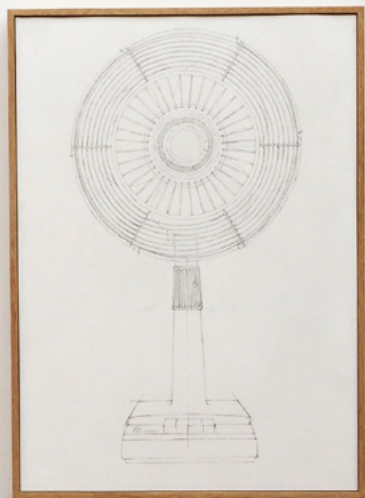
収集した昭和時代の日本製扇風機三十三台を写真撮影しそれらのイメージを忠実にトレーシング。その三十三枚のドローイングをパートナーがトレーシングし、またその三十三枚のドローイングを私がトレーシングを行った、計九十九枚のドローイング作品。戦後の日本社会の復興の原動力であり象徴であった家電製品の一つである扇風機のポートレイトを描くことで高度経済成長期の日本人の姿を投影している。一度描いたドローイングを反復でトレースする事で、大量生産を前提とする工業製品の生産工程を体現し、また結果として生じる線のズレは戦後の資源に貧しかった時代に生きた日本人が、試行錯誤を繰り返し遂げていった技術革新の軌跡を象徴している。



原像の現像（三十三台の扇風機）2011 - 2012

33/99: 作家による最初の試み、紙に鉛筆、アーティストフレーム

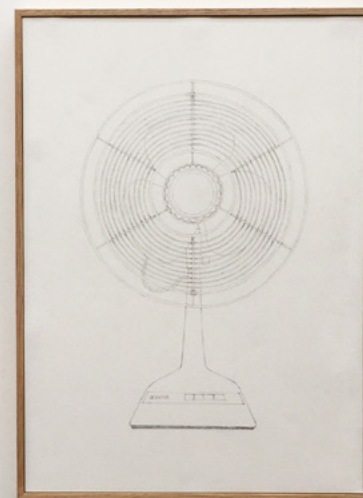
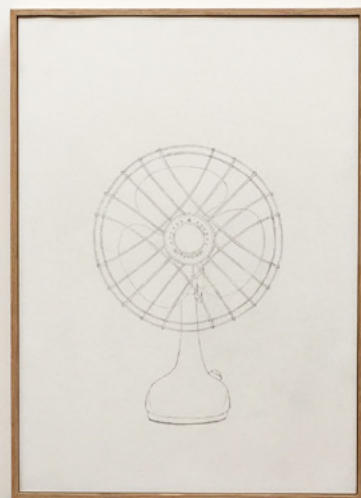
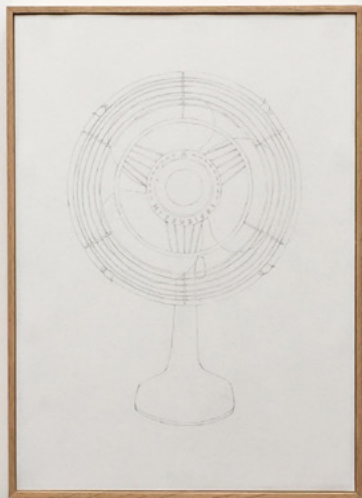
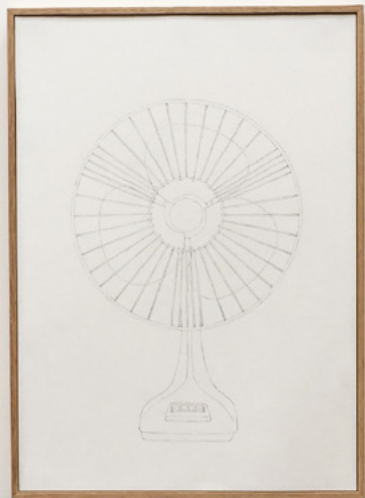
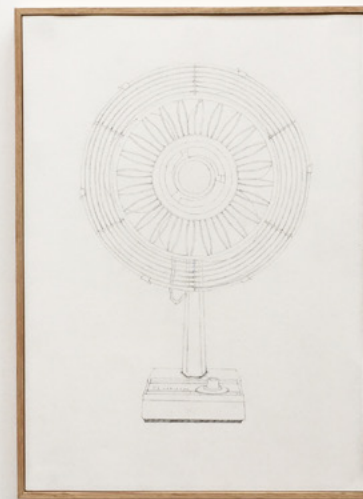
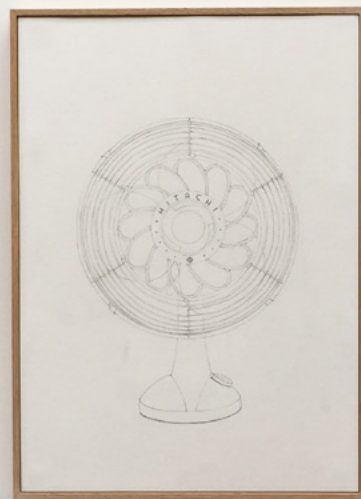
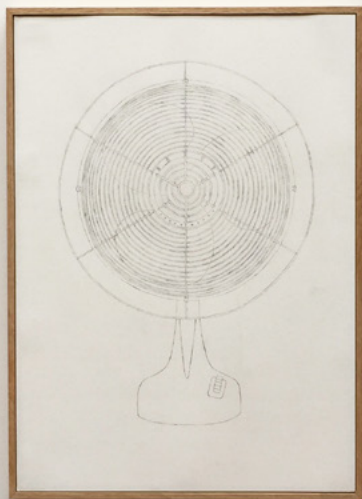
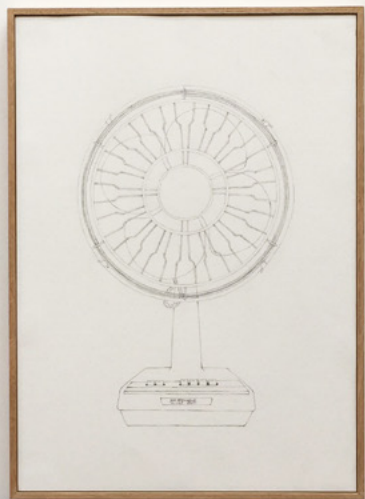
33.6 × 25 × 2 cm



矢口克信「原像の現像（三十三台の扇風機）」2011 - 2012

33/99: 作家による最初の試み、紙に鉛筆、アーティストフレーム

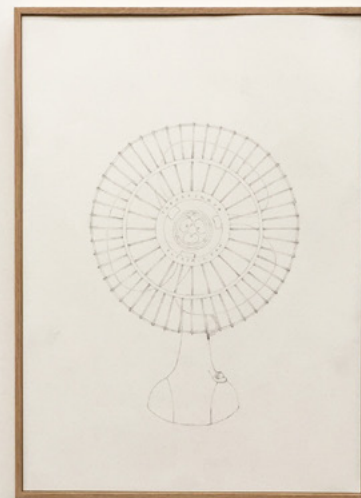
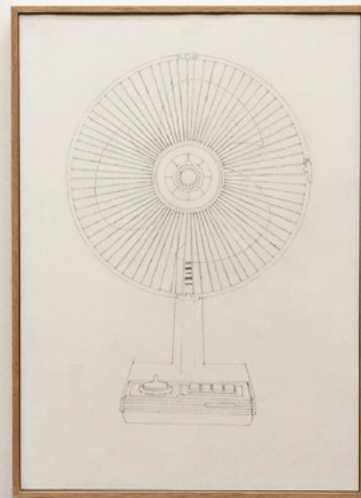
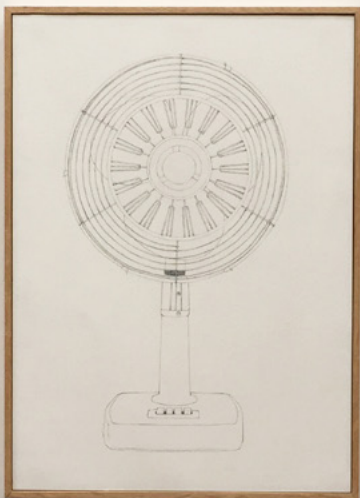
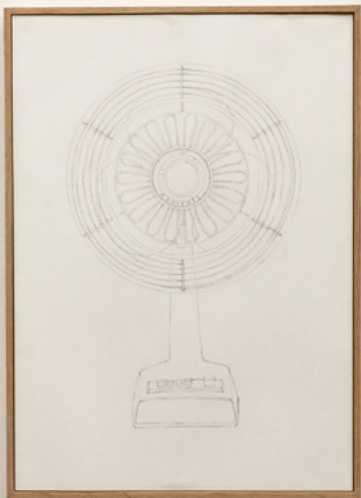
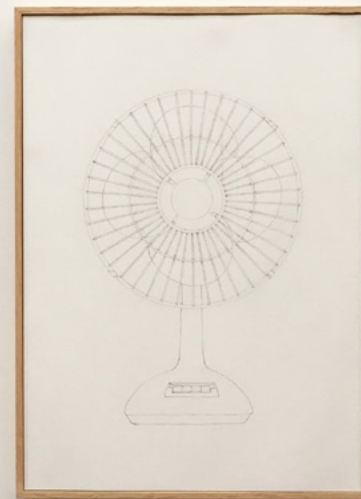
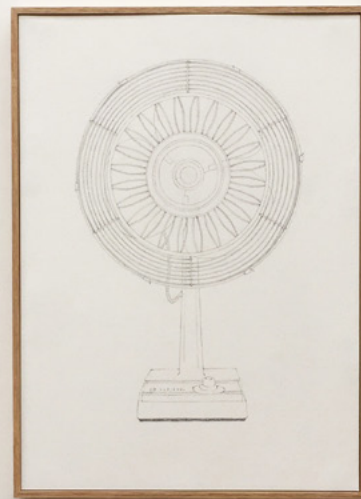
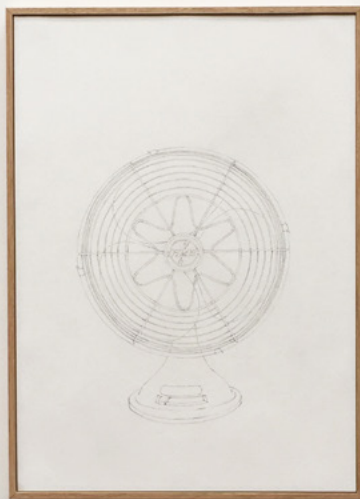
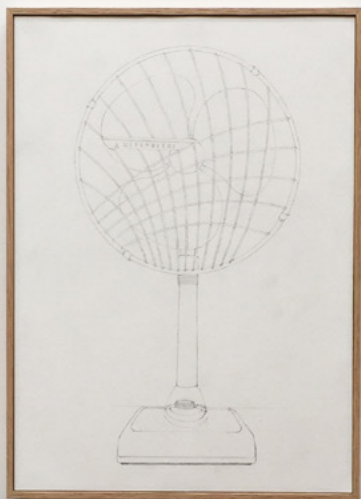
33.6 × 25 × 2 cm each



矢口克信「原像の現像（三十三台の扇風機）」2011 - 2012

33/99: 作家による最初の試み、紙に鉛筆、アーティストフレーム

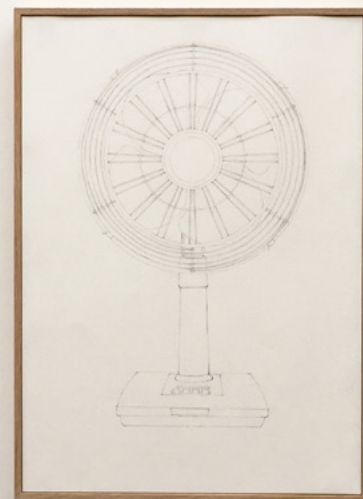
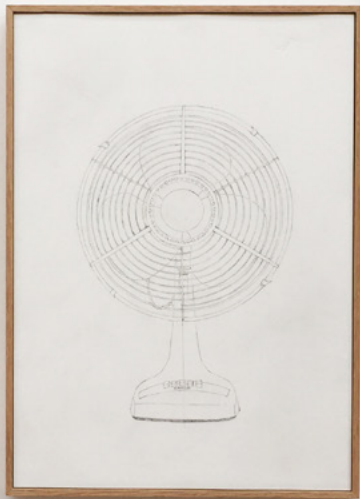
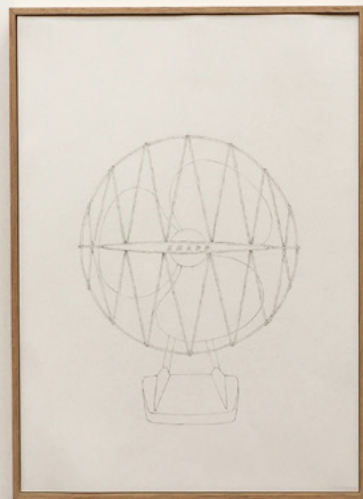
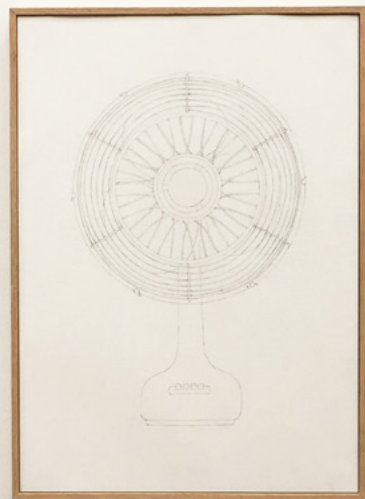
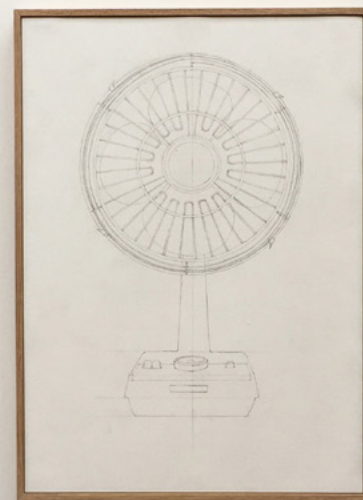
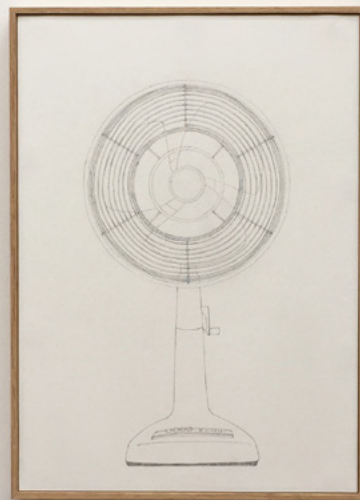
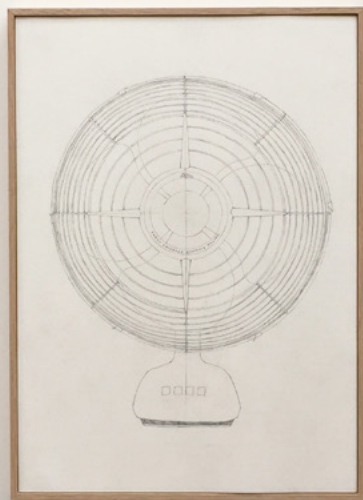
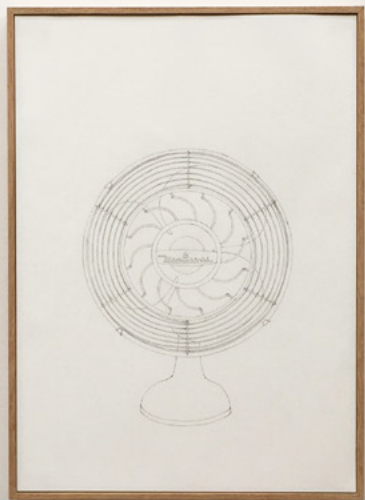
33.6 × 25 × 2 cm each



矢口克信「原像の現像（三十三台の扇風機）」2011 - 2012

33/99: 作家による最初の試み、紙に鉛筆、アーティストフレーム

33.6 × 25 × 2 cm each



矢口克信「原像の現像（三十三台の扇風機）」2011 - 2012

33/99: 作家による最初の試み、紙に鉛筆、アーティストフレーム

33.6 × 25 × 2 cm each



矢口克信「原像の現像（三十三台の扇風機）」2011 - 2012

展示風景：アトリエにて

矢口克信
「原像の現像（日本工業製品の広告）」
2018 -
Print

戦後の日本は工業製品を大量生産し対米輸出することで経済発展を遂げていく。
当時のアメリカ国内で消費されていった日本製品の広告の切り抜きから、混沌
とした時代の空気感やそこはかとな懐かしい情景を感じ得ることができる。
その情景を表情豊かな手漉き和紙に保存性の高いコロタイプ印刷で複製するこ
とで恒久的保存を試みた。



「原像の現像（日本工業製品の広告 #008）」 2018
手漉き和紙にコロタイプ印刷、蒔莢糊、アーティストフレーム
42.4 × 34 × 3 cm



「原像の現像（日本工業製品の広告 #007）」2018
手漉き和紙にコロタイプ印刷、蒔蒹糊、アーティストフレーム
42.4 × 34 × 3 cm



「原像の現像（日本工業製品の広告 #006）」2018
手漉き和紙にコロタイプ印刷、蒟蒻糊、アーティストフレーム
42.4 × 34 × 3 cm



「原像の現像（日本工業製品の広告 #005）」2018
 手漉き和紙にコロタイプ印刷、蒔蒹糊、アーティストフレーム
 42.4 × 34 × 3 cm



「原像の現像（日本工業製品の広告 #004）」2018

手漉き和紙にコロタイプ印刷、蒟蒻糊、アーティストフレーム

42.4 × 34 × 3 cm



「原像の現像（日本工業製品の広告 #003）」2018
手漉き和紙にコロタイプ印刷、蒟蒻糊、アーティストフレーム
42.4 × 34 × 3 cm



「原像の現像（日本工業製品の広告 #002）」2018

手漉き和紙にコロタイプ印刷、蒟蒻糊、アーティストフレーム

42.4 × 34 × 3 cm



「原像の現像（日本工業製品の広告 #001）」2018

手漉き和紙にコロタイプ印刷、蒟蒻糊、アーティストフレーム

42.4 × 34 × 3 cm

矢口克信

「音泉」

2010

Installation

壊れたオーディオから、音が流れるように、水が流れ続ける。



「音泉」 2010

オーディオ、木箱、循環式給水装置

展示風景：水戸芸術館噴水広場、茨城県水戸市



矢口克信「音泉」2010

オーディオ、木箱、循環式給水装置

展示風景：水戸芸術館噴水広場、茨城県水戸市



矢口克信「音泉」2010

オーディオ、木箱、循環式給水装置

展示風景：水戸芸術館噴水広場、茨城県水戸市



矢口克信「音泉」2010

オーディオ、木箱、循環式給水装置

展示風景：水戸芸術館噴水広場、茨城県水戸市



矢口克信「音泉」2010

オーディオ、木箱、循環式給水装置

展示風景：水戸芸術館噴水広場、茨城県水戸市

